

技術資料 #55

トラブルシューティング

ガラスの汚れ

すべてのハースストーンストーブは、セラミックで赤外線表面コートされた耐熱ガラスを使用しています。ストーブは熱された空気がガラスの上方より下方に流れるエアウォッシュシステムが採用されています。これら2つの特徴のコンビネーションは、ガラスに汚れが付着しにくいよう、設計されています。

ガラスが常に汚い場合は、次のリストをチェックしてください。

原因	解決方法
空気コントロールが閉まっている	空気コントロールレバーを開けてください。エアウォッシュは空気コントロールを通じて入る空気です。ストーブの燃焼中閉められているか、長い間空気を絞っての使用はガラスの汚れの原因になります。
空気流入が塞がれているか制約されている	空気の流入の検査をします。この作業を行う時はストーブが冷えた状態で行います。(少なくとも48時間は使用していない状態)ストーブの下の空気が流入する通路を掃除機等で掃除します。
ストーブの空気漏れ	もし、ドアとガラス回りのガスケットが擦り切れたり痩せたりしていたら、交換します。ドラフトはドアの周りのわずかな隙間から空気を引くでしょう。ガスケットが密閉していなければ、エアウォッシュ機能は働きません 石の継ぎ目をストーブセメントでシールし直します。 反りや不十分なパーツ(特にドア)が見られたら交換します。 灰受けドアと炉床のグレートが閉じた位置にあることを確認します。(# 14 もお読みください)
不十分なドラフト (#21 参照)	煙突のサイズ・高さの必要条件をすべて満たしているか確認します。 規格以前に製造された断熱煙突や空気層付煙突および不適切に組み立てられた煙突は交換してください。
不十分なドラフト	風圧帯に入り負圧を引き起こすような周囲の環境要因(風の負荷や木、煙突の能力に悪影響を及ぼすような他の諸条件)をチェックします。必要であれば、煙突を追加して高くします。
薪が乾燥していない	よく乾燥させた薪のみ使用ください。 割った状態で、風通しと日当たりのよい場所へ積み重ね、6ヶ月以上

	乾かした薪をお使いください。
操作方法	薪はなるべくガラスから遠ざけて燃やすように心掛けます。 薪の追加は、熾きが多くあるときに行うよう心掛けると、煙の出る量も縮小できます。 低温燃焼(薪1本だけ燃やす等)を避けてください。

備考:

低い温度の燃焼は避けられない場合もあります。煙の引きが弱い春の終わりや秋口は、ガラスに残留物をもたらしかねません。これは通常、次に温度を上げて燃焼させると自然に燃えてしまいます。それでも蓄積した汚れは、掃除をします。ストーブに火が入っている時や、ストーブが冷めていないときは、ガラスの掃除を行わないでください。頑固な汚れの掃除には、ドアガラスを外して掃除するとよいでしょう。ドアを水平になるように置き、ガラスの表面にストーブ専用のガラスクリーナーを付けます。ドアを水平に置くことで、クリーナーが流れずに浸透します。数分後、ペーパータオルか柔らかい布でガラスを拭いてください。磨耗性のものは使用しないでください。

表面に傷が付くと、ガラスが弱くなります。